

八劔神社に八重垣姫人形



八重垣姫の人形を奉納する神事を終え、記念写真に納まる小野さん(前列左から2人目)ら

小野さん 岡谷 奉納「母も喜ぶ」

岡谷市長地片間町の小野安也さん(77)は母の形見の日本人形「八重垣姫」1体を諏訪市小和田の八劔神社に奉納し、20日、奉獻奉告祭の神事が行われた。諏訪湖に建つ八重垣姫像のモデルとされ、制作から約80年にわたり大切に保管されてきた。神事後、小野さんは「縁のある八劔神社さんに預かっていただき、非常に喜んでいいる。母も喜んでいいると思つ」と話した。

母利子さんが1944(昭和19)年に嫁入り道具として持参した人形で高さ70センチ弱。整った顔立ちをしており保存状態は良好だ。八重垣姫は人形浄瑠璃文楽の演目「本朝廿四孝」に登場する架空の人物で、上杉謙信の娘であり武田勝頼の恋人。人形は勝頼の父、信玄ゆかりの諏訪法性のかぶとを手持っている。

小野さんと同居していた利子さんの部屋に飾っていたが、今年利子さんの七回忌を迎え、今後の保存について検討。御神渡り(御渡り)の観察や判定など諏訪湖に縁のある八劔神社で長く保存してほしいと奉納を決めた。

この日は、小野さんや姉の林秀美さん(78)、弟の吉田利也さん(73)らが訪れ、神事に参列した。神事後、人形は神社斎館内に飾られた。宮坂清宮司は「多くの人に見てもらえれば、人形もお母さま(利子さん)も喜ぶのではないか」と話した。

(小尾口有二)